

# 平和追求 戸田神父に学べ

山梨市牧丘町(旧西保村)生まれのカトリック教会元横浜教区長、戸田帯刀神父(1898~1945年)の足跡をたどろうと、カトリック藤沢教会(神奈川県藤沢市)の信者が19日、山梨市内にある戸田神父の生家跡などを訪れた。太平洋戦争中に反戦を唱え、横浜市で何

者かに射殺された戸田神父。改憲論議の高まりなど「平和」を取り巻く情勢が変わりつつある中、参加者は戸田神父に思いを寄せ、「戦時下で平和と向き合った神父の存在は、次世代に語り継がれるべきだ」との思いを口にした。

〈長田和之〉

## 山梨市出身 戦時中も反戦主張

### 藤沢の信者「巡礼の旅」で再認識

戸田帯刀神父



戸田帯刀神父について語る佐々木宏人さん(左)と、戸田神父の長兄の孫・戸田準一さん(右から3人目)ら＝山梨市牧丘町西保中



市内を訪れたのは、藤沢教会の信者約40人で、カトリックにゆかりのある人物の生誕地を訪ねる「巡礼の旅」の一環。新聞記者時代、県内に勤務したことがきっかけで、戸田神父に関する取材を続けている佐々木宏人さん(72)＝東京都在住＝も同行した。

戸田神父は旧制日川中を中退後、都内の開成中に入學。17歳で洗礼を受けた。ローマ留学などを経て、1941年に札幌教区長に着任。戦時下の42年3月には「米英を相手に戦争したら、どうなるか分からない」などと同僚神父に漏らしたとして、旧軍刑法違反で逮捕された。裁判では無罪とされたが、44年に横浜教区長に転任した後、45年8月の終戦直後に横浜市西保中谷教会内で何者かによって射殺された。

一行は、山梨市内で戸田神父の生家跡や戸田家の墓などを見学した。戸田神父の長兄の孫・準一さん(62)が、少年時代の戸田神父が勉強熱心だったことなど、現在も語り継がれているエピソードを紹介。一行は家系図を見るなどして戸田神父に思いを寄せた。

佐々木さんは「平和の意義が再び問われている今だからこそ、戦時下でも平和と向き合った戸田神父の足跡を解明し、伝えることに意味がある」と強調。藤沢教会の信者の一人、浅野士良さん(79)は「戸田神父の存在は次世代に語り継がれるべきだ。山梨に偉大な人物がいたことが、広く知られるようになってほしい」と話した。